

あたたかい子  
かしこい子  
たくましい子

学校だより

# つよし

—第39号—

令和3年2月1日  
平戸市立津吉小学校  
文責 校長 田川定司

## 「節目の時を迎えて」

明後日2月3日は節分の日です。「節分」は本来、季節の移り変わる時の意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指しています。その中で立春が1年の初めと考えられることから、「節分」といえば春の節分を示すものとなってきたそうです。また、節分に「豆まき」をされるご家庭もあるかと思います。節分に豆まきをするのは、季節の変わり目に邪気が入りやすいと思われていて、新しい春を迎える前に邪気を払って幸福を呼び込むために宮中祭祀として行われていたものが始まりだそうです。私たちの心の中にある鬼を退治し、みんなが幸せな一年になることを願っています。

ところで、節となる時や事柄を「節目」といいます。新しい年がスタートして1ヵ月が経ちました。3学期、2月は、子どもたちにとって、次の学年や中学校への進級・進学への4月という節目を迎えるための心構えをつくる大切な時期です。子どもたちに、これまでの自分、今日からの自分、そして、4月からの自分、それぞれの自分の姿をはっきりとイメージしてほしいと願います。

さて、2月4日には、4月に入学する新入生のための入学説明会を予定しています。22名の児童が入学予定です。来年度に向けての準備がすでに始まっています。まもなくやって来る春は、新しい学年に進級する季節です。その新しい春にいいスタートを切るため、子どもたちには、しっかりと一年間のまとめをして、準備を怠らず力を溜めてほしいと思います。特に6年生には、残る2か月、悔いの残らない小学校生活にしてほしいと願っています。



【昨年度1年生の豆まき】

## 読書好きの子供たちが育っています

今年度一人200冊の貸し出し冊数を目標に取り組んできた津吉つ子ですが、1月25日現在、一人平均147冊になっています。親子読書や朝の読み聞かせ等、子供たちの読書習慣の確立のために保護者の皆様に御協力いただいていることに感謝申し上げます。



【上級生による読み聞かせ】

### <貸し出し冊数上位者>

- 【第1位】里崎 敦生 (348冊)
- 【第2位】里崎 星哉 (315冊)
- 【第3位】山口 実月 (281冊)
- 【第4位】村瀬 奏音 (280冊)  
井手口 蒼 (280冊)
- 【第6位】掛屋 莉奈 (274冊)
- 【第7位】江川 芽依 (272冊)
- 【第8位】浦邊 幸花 (271冊)  
松口稟聖徠 (271冊)
- 【第10位】橋口 奏心 (267冊)

※つよし検定で里崎星哉君が「満点賞」でした。